

令和5年度 シラバス

2年I型

教科	国語	科目	国語表現	講座	2年I型	種別	選択必修
単位数	2	教科書	国語表現（大修館書店）				
副教材	なし						
科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力の育成を目指す。						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間力等
使える	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけようとしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。
できる	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、実生活に生かそうとしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりして、実生活に生かそうとしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養い、他者や社会に関わろうとしている。
わかる	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、理解を深め、実生活に生かしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりして実生活に生かしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わることができている。
弓削高校の7つの力	思考力・想像力	思考力・表現力	進路実現力・つながる力
評価方法	授業時の観察、リフレクションシート、小テスト、定期考査	授業時の観察、リフレクションシート、発問評価、定期考査	授業時の観察、リフレクションシート、定期考査、課題への取り組み方

学習計画
【1学期】 言葉と出会う 伝える、伝え合う
【2学期】 小論文・レポート入門 自己を見つめる
【3学期】 自己PRと面接

評価について
定期考査だけではなく、授業での取り組みや提出物なども評価の対象にします。また定期考査においては知識を問う問題だけではなく、思考力や表現力を測る設問も出題し、上記の3分野の能力を測ることを目的とします。
学習のアドバイス
国語が得意・不得意に関係なく、さまざまな文章にふれ、自分の意見を授業で発信してみましょう。 少しでも自分の言語感覚を磨き、自分が使える言葉を増やすことを意識して取り組んでみてください。

教科	国語	科目	文学国語	講座	2年I型	種別	選択必修
単位数	2	教科書	探求 文学国語(桐原書店)				
副教材	新訂 国語図説						
科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力の育成を目指す。						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間力等
使える	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
できる	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深め、実生活に生かそうとしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりして、実生活に生かそうとしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わるために、何か行動を起こそうとしている。
わかる	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深め、実生活に生かしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりして、実生活に生かしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わるために、具体的な行動を起こしている。
弓削高校の7つの力	思考力・創造力	思考力・表現力	進路実現力・創造力
評価方法	授業時の観察、小テスト、リフレクションシート、定期考査	授業時の観察、発問評価、リフレクションシート、定期考査	授業時の観察、リフレクションシート、定期考査、課題への取り組み方

学習計画
【1学期】 ランドセル・もののふの心—言葉とコトバ 山月記
【2学期】 永訣の朝・アイデンティティ 短歌八首・俳句八種 靴の話
【3学期】 虫のいろいろ・こころ

評価について
定期考査だけでなく、単元ごと的小テストや授業の取り組みなども評価の対象にします。また、定期考査では知識を問う問題だけでなく、思考力や表現力を測る設問も出題し、上記の3分野の能力を測ることを目的とします。
学習のアドバイス
① 国語が得意・不得意に関係なく、少しでも自分の言語感覚を磨くことを意識して取り組んでみてください。 ② 筆者の主張を読み解くために、文章の論理構成を意識して文章を読むようにしてください。

教科	地理歴史	科目	歴史総合	講座	2年	種別	必修
単位数	2	教科書	高等学校 新歴史総合（第一学習社）				
副教材	問いから始まる歴史総合（東京法令出版）						
科目の目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間力等
使える	世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、近現代の歴史を理解するとともに、諸資料を収集して、様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象について多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さへの自覚などを身に付けている。
できる	近現代の歴史を理解し、必要な諸資料から歴史に関する様々な情報を収集することができる。	歴史に見られる現代的な諸課題の解決に向けて、様々な資料から読み取った情報の意味や特色などを考察し、説明することができる。	よりよい社会とは何かについて考察し、諸資料を活用して、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができる。
わかる	現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。	歴史に見られる現代的な諸課題の解決に向けて考察し、表現している。	課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。
弓削高校の7つの力	思考力、表現力	思考力、表現力、創造力	課題解決力、進路実現力
評価方法	授業時の観察、単元テスト、定期考査	授業時の観察、単元テスト、定期考査	課題提出、授業への取組や課題への主体的取組状況（パフォーマンス評価）

学習計画
【1学期】 第1章 近代化と私たち 第1節 18世紀のアジアの繁栄 第2節 工業化の進展と国民国家の建設 第3節 結びつく世界と日本の開国 第4節 帝国主義とアジア諸国の変容
【2学期】 第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第1節 第一次世界大戦と大衆社会 第2節 経済危機と第二次世界大戦 第3節 第二次世界大戦後の世界と日本
【3学期】 第3章 グローバル化と私たち 第1節 冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭 第2節 世界秩序の変容と日本

評価について
定期考査や、単元テストなど、ペーパーテストの点数だけでなく、授業中の態度や課題への取組等も評価の対象です。また、テストの内容は、知識・理解を問う基礎的な問題だけでなく、思考力・判断力を問うため、発展的な問いも出題します。
学習のアドバイス
1 現代社会の諸課題について、興味を持って考えてみましょう。分からないことは、質問するなどして、宿題や提出物を必ず出しましょう。 2 授業をよく聞き、大切なことはメモをとりましょう。板書をとることに夢になるのではなく、ポイントを押さえることを意識して授業に臨みましょう。 3 テレビや新聞、インターネットを活用し、現実社会で起きているできごとをしっかりと把握しましょう。

教科	地理歴史	科目	地理総合	講座	2年	種別	必修
単位数	2	教科書	私たちの地理総合（二宮書店）				
副教材	私たちの地理総合ワークブック（二宮書店）						
科目の目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間力等
使える	地理に関わる諸事象に関して理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象について多面的・多角的に考察したり、地理的な課題を把握し解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、日本国民としての自覚、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さへの自覚などを身に付けている。
できる	地理に関わる諸事象に関して理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する情報を収集することができる。	現代における地理的な諸課題の解決に向けて、様々な資料から読み取った情報の意味や特色などを考察し、説明することができる。	よりよい社会とは何かについて考察し、諸資料を活用して、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができる。
わかる	世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組などを理解している。	現代における地理的な諸課題の解決に向けて考察し、表現している。	課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。
弓削高校の7つの力	思考力、表現力	思考力、表現力、創造力	課題解決力、進路表現力
評価方法	授業時の観察、単元テスト、定期考査	授業時の観察、単元テスト、定期考査	課題提出、授業への取組や課題への主体的取組状況（パフォーマンス評価）

学習計画
【1学期】 第1章 地図とGISの活用 第1節 球面上の世界 第2節 国家の領域と領土問題 第3節 国内や国家間の結びつき 第4節 日常生活のさまざまな地図 第2章 生活文化の多様性と国際理解 第1節 自然環境と生活文化
【2学期】 第2節 産業の発展と生活文化 第3節 言語・宗教と生活文化 第4節 グローバル化の進展と生活文化 第3章 生活文化の多様性と国際理解 第1節 人口・食料問題 第2節 居住都市問題
【3学期】 第3節 資源・エネルギー問題 第4節 地球環境問題 第4章 生活圏の諸課題 第1節 自然環境と防災 第2節 持続可能な地域づくり

評価について
定期考査や、単元テストなど、ペーパーテストの点数だけでなく、授業中の態度や課題への取組等も評価の対象です。また、テストの内容は、知識・理解を問う基礎的な問題だけでなく、思考力・判断力を問うため、発展的な問いも出題します。
学習のアドバイス
1 現代社会の諸課題について、興味を持って考えてみましょう。分からないことは、質問するなどして、宿題や提出物を必ず出しましょう。 2 授業をよく聞き、大切なことはメモをとりましょう。板書をとることに夢中になるのではなく、ポイントを押さえることを意識して授業に臨みましょう。 3 テレビや新聞、インターネットを活用し、現実社会で起こっているできごとをしっかりと把握しましょう。

教科	数学	科目	数学Ⅱ	講座	2年Ⅰ型	種別	必修
単位数	2	教科書	新 高校の数学Ⅱ（数研出版）				
副教材	新 高校の数学Ⅱ対応 ポイントノート 数学Ⅱ（数研出版）						
科目の目標	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間力等
使える	基本的な概念や原理・法則について体系的に理解し、それらを活用して事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりできる。	等式・不等式について論理的に考察したり、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、事象を数学的に考察し総合的・発展的に考察できる。	数学のよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしている。粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。
できる	基本的な概念や原理・法則について体系的に理解し、活用することができる。	問題の特徴をよく捉え、問題解決の過程や結果から事象を数学的に考察し、統合的に考察することができる。	授業に積極的に参加し、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。
わかる	基本的な概念や原理・法則について体系的に理解している。	問題の特徴を捉え、問題解決の過程や結果から統合的に考察できる。	授業に積極的に参加している。
弓削高校の7つの力	思考力、表現力	思考力、表現力、創造力	課題解決力、進路実現力
評価方法	授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査	授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査	課題提出、授業への取組や課題への主体的取組状況（パフォーマンス評価）

学習計画
【1学期】 第1章 複素数と方程式 第2章 図形と方程式 第1節 点と直線
【2学期】 第2節 円 第3章 三角関数
【3学期】 第3章 三角関数

評価について
定期考査や、単元テスト、小テストなど、ペーパーテストの点数だけでなく、授業中の態度や課題への取組等も評価の対象です。また、テストの内容は、知識・理解を問う基礎的な問題だけでなく、思考力・判断力を問うため、発展的な問いも出題します。
学習のアドバイス
1 数学の得意・不得意は問題ではありません。難しい問題にも、果敢にチャレンジしましょう。分からない問題は、質問するなどして、宿題や提出物を必ず出しましょう。 2 授業をよく聞き、大切なことはメモをとりましょう。板書をとることに夢になるのではなく、ポイントを押さえることを意識して授業に臨みましょう。

教科	理科	科目	科学と人間生活	講座	2年	種別	必修
単位数	2	教科書	新 科学と人間生活 (数研出版)				
副教材	なし						
科目の目標	自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを見通しをもって行うことなど通して理解し、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間力等
使える	自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術と人間生活とのかかわりについて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けている。	人間生活と関連のある自然の事物や現象の中に問題を見出し、見通しをもって実験・観察・調査などを行うとともに、ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより、総合的に判断し、それを表現することができる。	自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度が養われている。 自然の原理・法則や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて社会が発展するための基盤となる科学に対する興味・関心を高めている。
できる	自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術と人間生活とのかかわりについて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	人間生活と関連のある自然の事物や現象の中に問題を見出し、見通しをもって実験・観察・調査などを行うとともに、ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることができる。	自然の事物・現象に進んでかかわろうとする態度が養われている。 自然の原理・法則や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて興味・関心を高めている。
わかる	自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術と人間生活とのかかわりについて理解している。	人間生活と関連のある自然の事物や現象の中に問題を見出し、実験・観察・調査などを行うとともに、ものごとを考察したり分析したりすることができる。	自然の事物・現象に進んでかかわろうとする態度が養われている。 自然の原理・法則と人間生活とのかかわりについて興味・関心を高めている。
弓削高校の7つの力	思考力、表現力、進路実現力	思考力、表現力、創造力、課題解決力、進路実現力	課題解決力、進路実現力、つながる力
評価方法	授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査	授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査	授業時の観察、小テスト、定期考査、課題への取り組み方

学習計画
【1学期】 序編 科学技術の発展 第1編 物質の科学 第1章 材料とその再利用 第2章 衣料と食品
【2学期】 第2編 生命の科学 第1章 ヒトの生命現象 第2章 微生物とその利用 第3編 光や熱の科学 第1章 光の性質とその利用 第2章 熱の性質とその利用
【3学期】 第4編 宇宙や地球の科学 第1章 太陽と地球 第2章 自然景観と自然災害 終編 これからの科学と人間生活

評価について
定期考査や、単元テスト、小テストなど、ペーパーテストの点数だけでなく、授業中の態度や課題への取組等も評価の対象です。また、テストの内容は、知識・理解を問う基礎的な問題だけでなく、思考力・判断力を問うため、発展的な問いも出題します。
学習のアドバイス
1 授業をよく聞き、大切なことはメモをとりましょう。板書をとることに夢中になるのではなく、ポイントを押さえることを意識して授業に臨みましょう。 2 予習や復習をしたり、授業を受けたりする中で生じた疑問点については、積極的に質問しましょう。

教科	保健体育	科目	体育	講座	1年	種別	必修
単位数	3	教科書	現代高等保健体育				
副教材	現代高等保健体育ノート						
科目の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力の育成を目指す。						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間力等
使える	運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができ、運動の多様性や体力の必要性の理解を基に技能を身に付けることができ、運動の計画を立てることができる。	運動などについての自己や仲間の課題や豊かなスポーツライフを継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考・判断し、学習したことを基に解決の仕方や気付いたこと等について自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を高め、健康・安全を確保し、運動に主体的に取り組むことができ、継続して運動に親しむことができる。
できる	運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができ、運動の多様性や体力の必要性の理解を基に技能を身に付けることができる。	運動などについての自己や仲間の課題や豊かなスポーツライフを継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考・判断し、学習したことを基に解決の仕方や気付いたこと等について自己や仲間と考えることができる。	公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を高め、健康・安全を確保し、運動に主体的に取り組むことができる。
わかる	運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができ、運動の多様性や体力の必要性を理解できる。	運動などについての自己や仲間の課題や豊かなスポーツライフを継続するための課題を、合理的・計画的な解決に向けて思考・判断し、解決の仕方等について考えることができる。	公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を高め、健康・安全を確保し、運動に積極的に取り組むことができる。
弓削高校の7つの力	思考力、課題解決力	思考力、表現力、課題解決力	表現力、つながる力
評価方法	授業時の観察、実技テスト、リフレクションシート	授業時の観察、発問評価、リフレクションシート	授業時の観察、リフレクションシート、授業への取り組み方

学習計画
【1学期】 ・体づくり運動 ・球技（バレーボール） ・体育理論
【2学期】 ・ダンス ・球技（バスケットボール・サッカー） ・体育理論
【3学期】 ・陸上競技（長距離走） ・球技（バドミントン） ・体育理論

評価について
上記の観点を踏まえ、①出席状況 ②実技試験 ③提出物 ④授業態度 を総合的に判断して評価する。
学習のアドバイス
1 休まず授業に出席し、様々な競技を体験しましょう。 2 得意・不得意に関係なく、全力で取り組みましょう。 3 自分だけでなく、他者の安全にも十分注意して学習しましょう。

教科	保健体育	科目	保健	講座	2年	種別	必修
単位数	1	教科書	現代高等保健体育				
副教材	現代高等保健体育ノート						
科目の目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力の育成を目指す。						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間力等
使える	現代社会と健康、安全な社会生活について、個人だけでなく社会生活について総合的に理解し、実生活に生かすことができるとともに、それらの内容に関わる技能を身に付ける。	健康に関わる事象や健康情報などから自他や社会の課題を発見し、より良い解決に向けて思考したり、判断したりするとともに、他者と協働し解決することができる。	現代社会と健康、安全な社会生活について、課題の解決に向けた学習に主体的・協働的に取り組める。
できる	現代社会と健康、安全な社会生活について、個人だけでなく社会生活について総合的に理解するとともに、それらの内容に関わる技能を身に付ける。	健康に関わる事象や健康情報などから自他や社会の課題を発見し、より良い解決に向けて思考したり、判断したりするとともに、他者に表現することができる。	現代社会と健康、安全な社会生活について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。
わかる	現代社会と健康、安全な社会生活について、個人だけでなく社会生活について理解できるとともに、それらの内容に関わる技能を身に付ける。	自他や社会の課題について、より良い解決に向けて思考したり、判断したりするとともに、他者に表現することができる。	現代社会と健康、安全な社会生活について、課題の解決に向けた学習に取り組もうとしている。
弓削高校の7つの力	思考力、課題解決力	思考力、表現力、課題解決力	つながる力
評価方法	授業時の観察、小テスト、リフレクションシート、定期考査	授業時の観察、発問評価、リフレクションシート、定期考査	授業時の観察、リフレクションシート、定期考査、課題への取り組み方

学習計画
【1学期】 ・ 3単元「生涯を通じる健康」（前半）
【2学期】 ・ 3単元「生涯を通じる健康」（後半） ・ 4単元「健康を支える環境づくり」（前半）
【3学期】 ・ 4単元「健康を支える環境づくり」（後半）

評価について
上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②提出物 ③授業態度を総合的に判断して評価する。
学習のアドバイス
1 休まず授業に出席しましょう。欠席時の学習については学習内容を確認し、ノートを書き写しましょう。 2 板書やワークをしっかりと振り返り、試験に臨みましょう。 3 授業プリントは、ノートに貼って学期末に提出するので、日頃からノートの整理をしっかりと行いましょう。

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	講座	2年Ⅰ型	種別	必修
単位数	3	教科書	MOUSA 2 (教育芸術社)				
副教材							
科目の目標	音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を育成することを目指す。						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間力等
使える	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などのかかわり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。
できる	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などのかかわり及び音楽の多様性について知っている。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を理解し、歌唱、器楽、創作で活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素の働きを感受し、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。
わかる	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景及び音楽の多様性について知っている。 ・音楽表現をするために必要な基本的な技能を用いて、歌唱、器楽、創作で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指示されたとおりに表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。
弓削高校の7つの力	思考力、表現力、課題解決力	思考力、表現力、創造力	課題解決力、企画運営力、つながる力
評価方法	授業時の観察、小テスト、実技テスト	授業時の観察、小テスト、実技テスト	授業時の観察、実技テスト

学習計画
【1学期】 歌唱 器楽 (ギター) 鑑賞・創作
【2学期】 合唱 歌唱・鑑賞 (ミュージカル) 器楽 (ヴォーカル・アンサンブル)
【3学期】 歌唱・器楽 (伝統音楽、篠笛) 歌唱 鑑賞 (クラシック音楽)

評価について
上記の観点を踏まえ、①筆記試験 ②実技試験 ③提出物 ④授業態度 を総合的に判断して評価する。
学習のアドバイス
1 休まず授業に出席し、提出物の期限を守ること。 2 演奏では自分なりの表現を大切にし、楽器演奏、歌唱、実技試験に臨む。 3 筆記試験も実施する。プリントは、ファイルに綴じて学期末に提出するので、日頃からファイルの整理をしっかりと行う。

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	講座	2年Ⅰ型	種別	必修
単位数	2	教科書	MY WAY English Communication Ⅱ (東京書籍)				
副教材	DUALSCOPE 総合英語 (数研出版)、改訂版フレーズで英単語 3000 (浜島書店)						
科目の目標	<p>日常的・社会的な話題について、読んだり聞いたりして必要な情報を理解し、話や文章の展開、話し手や書き手の意図を把握したり概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。</p> <p>多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</p>						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
使える	要点や考え、気持ちをまとめたり伝えたりするために、日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりして、話や文章の展開、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。	聞いたり読んだりした内容を基に、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく話したり書いたりすることができる。	授業や課題、テストに意欲的に取り組み、様々なツールを用いて英語で表現する態度を身に付けている。また、表現したことに対して教師やクラスメートからのフィードバックを受けて、自ら修正することができる。
できる	日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりして、話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。	聞いたり読んだりした内容を基に、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて理由や根拠とともに詳しく話したり書いたりすることができる。	授業や課題、テストに意欲的に取り組み、様々なツールを用いて英語で表現する態度を身に付けている。
わかる	日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、概要を理解することができる。	聞いたり読んだりした内容を基に、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて話したり書いたりすることができる。	授業や課題、テストに意欲的に取り組んでいる。
弓削高校の7つの力	思考力、表現力	思考力、表現力、創造力	課題解決力、進路実現力
評価方法	授業や課題への取組、単元テスト、小テスト、定期考査	授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査、パフォーマンステスト	授業や課題への取組、パフォーマンステスト

学習計画
<p>【1学期】</p> <p>Lesson 1 Dances Around the World</p> <p>Lesson 2 Katsura Sunshine — Making the World Laugh</p>
<p>【2学期】</p> <p>Lesson 3 Living with Nature — Takita Asuka's Journey</p> <p>Lesson 4 Sesame Street</p>
<p>【3学期】</p> <p>Lesson 5 From Landmines to Herbs</p>

評価について
定期考査、単元テスト、小テスト、パフォーマンステスト、授業や課題への取組等を総合的に評価します。
学習のアドバイス
<p>1 予習・復習、課題の提出をきちんと行い、自ら学習する習慣を身に付けましょう。</p> <p>2 英語は使えば使うだけ上達します。授業中のスピーキングやライティング活動、プレゼンテーションに積極的に参加しましょう。</p>

教科	商業	科目	ビジネス基礎	講座	2年	種別	選択
単位数	3	教科書	ビジネス基礎（実教出版）				
副教材	ビジネス基礎問題集（実教出版）						
科目の目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
	知識・理解		思考力・判断力・表現力		学びに向かう力・人間力		
達成度A	商業の学習及びビジネスの概要について理解することができる。		商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題について、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展と関連付けて見いだすことができる。		ビジネスの基礎的な事項について自ら学び、ビジネスに主体的かつ協働的に取り組むことができる。		
達成度B	商業の学習及びビジネスの概要について概ね理解することができる。		商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題について、見いだすことができる。		ビジネスに主体的かつ協働的に取り組むことができる。		
達成度C	商業の学習及びビジネスの概要について理解することができていない。		商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題について、見いだすことができない。		ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む努力が必要である。		
弓削高校の7つの力	思考力、表現力		思考力、表現力、創造力		課題解決力、進路実現力		
評価方法	授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査		授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査		課題提出、授業への取組や課題への主体的取組状況		

学習計画
【1学期】 1章 商業の学習とビジネス 2章 ビジネスとコミュニケーション
【2学期】 3章 経済と流通の基礎 4章 さまざまなビジネス 5章 企業活動の基礎 6章 ビジネスと売買取引
【3学期】 7章 ビジネス計算 8章 身近な地域のビジネス

評価について
定期考査や、単元テスト、小テストなど、ペーパーテストの点数だけでなく、授業中の態度や課題への取組等も評価の対象です。また、テストの内容は、知識・理解を問う基礎的な問題だけでなく、思考力・判断力を問うため、発展的な問いも出題します。
学習のアドバイス
1 商業の科目は得意・不得意は問題ではありません。難しい問題にも、果敢にチャレンジしましょう。分からない問題は、質問するなどして、宿題や提出物を必ず出しましょう。 2 授業をよく聞き、大切なことはメモをとりましょう。板書をとることに夢中になるのではなく、ポイントを押さえることを意識して授業に臨みましょう。

教科	商業	科目	簿記	講座	2年	種別	選択
単位数	2	教科書	簿記（実教出版）				
副教材	最新段階式日商簿記検定3級						
科目の目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
	知識・理解		思考力・判断力・表現力		学びに向かう力・人間力		
達成度A	収益、費用の意味とそれぞれの項目、損益計算書の作成方法についてきちんと理解している。		前章の取引の分解に関連させて仕訳の手順について思考・判断し、仕訳の意味を他者にわかりやすく説明できる。		簿記の定義、簿記の目的、簿記の種類、簿記の歴史について自ら意欲的に取り組み理解しようとしている。		
達成度B	収益、費用の意味とそれぞれの項目、損益計算書の作成方法についておおむね理解している。		仕訳と転記における、それぞれの手順について思考・判断し、その結果、自分が身につけたことを仕訳と転記の作業を通しておおむね表現できる。		簿記の定義、簿記の目的、簿記の種類、簿記の歴史、簿記の前提条件について理解しようとして取り組んでいる。		
達成度C	収益、費用の意味とそれぞれの項目、損益計算書の作成方法について理解していない。		仕訳と転記における、それぞれの手順について思考・判断したり、その結果、自分が身につけたことを仕訳と転記の作業を通して表現したりすることができない。		簿記の定義、簿記の目的、簿記の種類、簿記の歴史、簿記の前提条件について理解しようとする態度が見られない。		
弓削高校の7つの力	思考力、表現力		思考力、表現力、創造力		課題解決力、進路実現力		
評価方法	授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査		授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査		課題提出、授業への取組や課題への主体的取組状況		

学習計画
【1学期】 第1編 簿記の基礎 第2編 取引の記帳（その1）
【2学期】 第3編 決算（その1） 第4編 会計帳簿と帳簿組織 第5編 取引の記帳（その2）
【3学期】 第6編 決算（その2）

評価について
定期考査や、単元テスト、小テストなど、ペーパーテストの点数だけでなく、授業中の態度や課題への取組等も評価の対象です。また、テストの内容は、知識・理解を問う基礎的な問題だけでなく、思考力・判断力を問うため、発展的な問いも出題します。
学習のアドバイス
1 作成された帳簿書類や貸借対照表、損益計算書といった財務諸表を通して、企業の基本活動の状況を見る視野や考え方が広がります。 2 年間の学習を通して、簿記検定試験を受験し資格取得が可能となっていますので、自分から意欲的に勉学に励んで下さい。

教科	商業	科目	ビジネス・コミュニケーション	講座	2年	種別	選択
単位数	2	教科書	ビジネス・コミュニケーション (実教出版)				
副教材							
科目の目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスにおけるコミュニケーションに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
	知識・理解		思考力・判断力・表現力		学びに向かう力・人間力		
達成度A	ビジネスの様々な場面で役に立つ、基礎的な知識と技術を身に付けている。		ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。		ビジネスの創造と発展に責任をもって取り組もうとしている。		
達成度B	ビジネスの様々な場面で役に立つ、基礎的な知識と技術をおおむね身に付けている。		ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を考えている。		ビジネスの創造と発展に取り組もうとしている。		
達成度C	ビジネスの様々な場面で役に立つ、基礎的な知識と技術を身に付けていない。		ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を考えていない。		ビジネスの創造と発展にもって取り組もうとしていない。		
弓削高校の7つの力	思考力、表現力		思考力、表現力、創造力		課題解決力、進路実現力		
評価方法	授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査		授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査		課題提出、授業への取組や課題への主体的取組状況		

学習計画
【1学期】 1編 ビジネスとコミュニケーション
【2学期】 2編 ビジネスマナー 3編 ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション
【3学期】 4編 ビジネスと外国語

評価について
定期考査や、単元テスト、小テストなど、ペーパーテストの点数だけでなく、授業中の態度や課題への取組等も評価の対象です。また、テストの内容は、知識・理解を問う基礎的な問題だけでなく、思考力・判断力を問うため、発展的な問いも出題します。
学習のアドバイス
1 商業の科目は得意・不得意は問題ではありません。難しい問題にも、果敢にチャレンジしましょう。分からない問題は、質問するなどして、宿題や提出物を必ず出しましょう。 2 授業をよく聞き、大切なことはメモをとりましょう。板書をとることに夢中になるのではなく、ポイントを押さえることを意識して授業に臨みましょう。

教科	商業	科目	情報処理	講座	2年	種別	選択
単位数	2	教科書	情報処理 (実教出版)				
副教材	全商情報処理検定模擬試験問題集ビジネス情報部門3級 (実教出版)						
科目の目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
	知識・理解		思考力・判断力・表現力		学びに向かう力・人間力		
達成度A	企業における適切な情報処理について理解するとともに、関連する技術を説明できる程度に確実に身に付けている。		情報処理の意義と課題について理解するとともに、企業活動との関連について説明できる程度に理解している。		企業における情報処理について自ら積極的に学び、適切な情報処理に主体的かつ協働的に取り組む態度が身に付いている。		
達成度B	企業における適切な情報処理について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。		情報処理の意義と課題について、企業活動と関連付けて理解している。		企業における情報処理について自ら学び、適切な情報処理に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。		
達成度C	教科書によって、企業における適切な情報処理についてまとめ、関連する技術の習得に努めている。		教科書によって情報処理の意義と課題についてまとめ、理解に努めている。		教科書によって企業における情報処理について自ら学ぼうとし、適切な情報処理に主体的かつ協働的に取り組む態度の習得に努めている。		
弓削高校の7つの力	思考力、表現力		思考力、表現力、創造力		課題解決力、進路実現力		
評価方法	授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査		授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査		課題提出、授業への取組や課題への主体的取組状況		

学習計画
【1学期】 第1章 企業活動と情報処理
【2学期】 第2章 コンピュータと情報通信システム 第3章 情報の集計と分析
【3学期】 第4章 ビジネス文書の作成 第5章 プレゼンテーション

評価について
定期考査や、単元テスト、小テストなど、ペーパーテストの点数だけでなく、授業中の態度や課題への取組等も評価の対象です。また、テストの内容は、知識・理解を問う基礎的な問題だけでなく、思考力・判断力を問うため、発展的な問いも出題します。
学習のアドバイス
1 商業の科目は得意・不得意は問題ではありません。難しい問題にも、果敢にチャレンジしましょう。分からない問題は、質問するなどして、宿題や提出物を必ず出しましょう。 2 授業をよく聞き、大切なことはメモをとりましょう。板書をとることに夢中になるのではなく、ポイントを押さえることを意識して授業に臨みましょう。

教科	家庭	科目	フードデザイン	講座	2年I型	種別	選択
単位数	3	教科書	フードデザイン Food Changes LIFE (教育図書)				
副教材	調理実習ノート基礎編 (愛媛県高等学校家庭科教育研究会) 調理実習ノート専門編 (愛媛県高等学校家庭科教育研究会)						
科目の目標	栄養、食品、献立、調理などに関する知識と技術を習得させ、食生活を総合的にデザインするとともに、食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間力等
使える	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を体系的に理解しているとともに、それらに係る技能を実生活で活用できる。	食生活の現状から食生活全般に関する課題を見出し思考を深め、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決に向けた実践ができる。	授業に積極的に参加し、身に付けた知識や技能を実生活で実践することができる。
できる	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を体系的に理解し活用することができる。	食生活の現状から食生活全般に関する課題を見出し思考を深め、合理的かつ創造的に解決に向けた実践を評価・改善できる。	食生活に関する諸問題に関心を持ち、食育の推進に向けて、積極的に取り組もうとする意欲と態度を身に付けている。
わかる	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を体系的に理解している。	食生活の現状から食生活全般に関する課題を見出し思考を深め、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決策を構想することができる。	食生活に関する諸問題に関心を持ち、自身の生活と結び付けることができる。
弓削高校の7つの力	思考力、表現力	思考力、表現力、想像力	課題解決力、つながる力
評価方法	授業時の観察、実習や課題の成果物、定期考査	授業時の観察、実習や課題の成果物、定期考査	課題提出、授業・実習への取組や課題への主体的取組状況

学習計画
【1学期】 第1章 健康と食生活 1 食事の意義と役割 2 食を取り巻く現状 第2章 栄養素と食品 1 栄養素と消化・吸収 2 各栄養素のはたらき <食物調理技術検定4級>
【2学期】 第2章 栄養素・食品の特徴 3 食品とその特徴 4 何をどれだけ食べる？ <食物調理技術検定3級>
【3学期】 第4章 調理実習 ・日常食 ※適宜調理実習を行う

評価について
定期考査や実習での成果物の点数だけでなく、授業中や実習中の態度、課題への取組等も評価の対象です。
学習のアドバイス
1 授業を大切にし、集中して取り組むこと。提出物は期限を守ること。 2 実習では、安全面と衛生面に気を付けながら積極的に取り組むこと。(エプロン、三角巾着用) 3 学習した内容を家庭で実践してみる。